
2020 年度 事業報告書

特定非営利活動法人
アントレプレナーシッ
プ開発センター

〒604-0866
京都市中京区西方寺町 160-2
船越メディカルビル 3F
TEL:075-468-8907 FAX:075-468-8908

アントレプレナーシップ開発センターが目指すもの:

アントレプレナーシップ溢れる人材育成と社会の実現

目次

はじめに	1
2020 年度 事業概要 SUMMARY	2
2020 年度 活動報告 ACTIVITY REPORT	4
2020 年度 決算報告 FINANCIAL REPORT	15

はじめに

2020 年度の事業は、前年度よりの新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大によって、大幅な変更や制約が生じましたが、皆様のご支援のもと、規模を縮小しながらも予定していた活動を概ね中止することなく実施することが出来ました。

ただ、残念ながら、2017 年から堀川商店街で実施しておりました小中学生対象の「堀商キッズチャレンジ」の講座は、使用予定の団地会議室がコロナ禍で利用のめどが立たず取り止めとなりました。一方で、新しく開講しました寺町の商店街での「ジュニアリーダーズクラブ for Social Action」は、開始時期を 8 月に遅らせ活動内容を変更することで、少人数ながら良い活動を行うことが出来ました。本活動は、2021 年度もオンラインを活用しながら続けております。同じく、小中学生対象の「子どもの起業村～キッズベンチャータウン」も、規模と時間を縮小し、同志社大学の町家キャンパスをお借りして開催しました。参加者が例年の三分の一と少ない中での実施でしたが、子供達同士の交流が増え、良い面も多くありました。また、以前より実施したいと考えておりました小中学生対象の起業アイデアコンテスト「Kyoto アントレプレナーチャレンジ」を京都府の補助金を活用して開始することが出来ました。本事業は、子供達の提案アイデアの実現を応援するもので、191 の応募の中から採択された 5 つのチームが、大人の助言を得ながら、立派に事業アイデアを形にすることが出来ました。事業報告会での発表は素晴らしいもので、2021 年度も継続予定です。

2004 年から続けております高校生の国際競技「Global Enterprise Challenge (GEC)」は、昨年度の国内予選では突然の休校措置で混乱が生じましたが、今年は事前学習会もオンラインに変更し、3 月 28 日の国内予選には全国から 73 校 80 チーム（525 名）の高校生がエントリーし、今までで一番多い参加者となりました。入賞した 3 チームは 5 月 29 日開催予定の世界大会に向けて、準備しているところですが、コロナ禍でのオンライン競技ということで、世界大会の参加者も増えて来ております。

今年度 20 回目を迎えた起業教育の実践見本市「ユースエンタプライズ トレードフェア」は、初のオンライン開催となりました。ほとんど広報が出来ず、例年出展されている学校のみでの参加となりましたが、出展がなかった分、互いの実践をじっくり聞いて学び合える良い機会となったようです。加えて、アントレプレナーシップ教育の指導者養成講座も、オンライン開催に切り替えたことで遠方からの受講者が増えました。課題は、現場実習をどうするかということになりますが。

まだまだ新型コロナウイルスの猛威には油断出来ませんが、このパンデミックという苦境を乗り越えるために知恵を出すことが、新しいイノベーションに繋がると信じ、アントレプレナーシップ溢れる人材育成をさらにパワーアップしたいと考えております。皆様には、引き続き良き応援者として、ご指導・ご支援賜れますよう何卒よろしくお願いいたします。

令和 3 年 5 月末日

特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センター

理事長 原田紀久子

2020 年度 事業概要

Summary

事業	対象・実施日・場所	成果
1. 能力開発のための研修・講義・講座の提供		
【ジュニアリーダーズクラブ for Social Action】新規事業 身近な社会問題について考え、自分達ができることを提案して実践することでソーシャルリーダーとしての資質を育成する 助成：公益財団法人大阪コミュニティ財団「江田直介・静子健やかな青少年育成基金」、独立行政法人国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金」	対象：小学高学年～中学生 日時：8/8～毎月第1,3 土曜日午前 場所：寺町商店街 参加者：延べ約 150 名	コロナ禍で開催が遅れたが、実施が中止になった堀商キッズチャレンジの子供達を中心に活躍し、広報誌の作成やエコ商品の開発を通じて、大きく成長した。
【里山の手仕事体験ワークショップ】新規事業 起業家教育を推進する小規模校の亀岡市西別院小学校の子供達と一緒に、里山の資源を使ったモノづくりを体験し、交流してもらうことで、西別院の予算を知ってもらう活動。 助成：一般財団法人 YS 市庭コミュニティー財団	対象：地元の小学生と移住希望家族 日時：8/2, 8/23 場所：組ム木工房、犬甘野営農組合 参加者：約 50 名	コロナの影響で開催を真夏に延期せざるを得なかったが、参加者の中から実際に西別院町に移住する家族も出て、良い事業となった。
【子どもが創る起業村～キッズベンチャータウン】2017～ 子供達が「こんな製品やサービスがあったらいいな」という未来の仕事のアイデアを今ある科学技術を使って形にしてキッズベンチャータウンの日に展示・紹介する活動。 助成：独立行政法人国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金」、公益財団法人双葉電子記念財団「青少年創造性開発育成事業」	対象：小学高学年～中学生 日時：9/13-12/13 隔週日曜午前 8 回 場所：同志社大学町家キャンパス「江湖館」 参加&協力者 約 30 名	コロナ対策として少人数での実施で発表会も関係者のみの招待となったが、アットホームな雰囲気できめ細やかな指導もでき、子供達同士は仲良く交流するなどメリットもあった。
【Kyotoアントレプレナーチャレンジ】新規事業 小・中学生対象の事業アイデアコンテストで、採択事業は、その実現を応援し、優秀な取り組みに表彰するもの。今年は、5 つの事業提案を採択し、12 月末～2 月末の間に、2 週間ごとにオンライン会議を行い、事業の進め方について助言したり、互いに学び合ったりする場を持ち、事業を進めた。最後に、3/7 に事業報告会を開催。 補助：京都府「起業するなら京都・プロジェクト」起業体験推進補助事業	対象：京都府内の小・中学生 日時：公募締切 11/18 事業実施 12 月末～2 月末 参加者：応募者含み 約 500 人	公募開始が 9 月末と大幅に事業スケジュールが遅れ、子供達がアイデアの実現にける時間が多くとれなかったが、採択された事業のリーダー達のがんばりもあり、全ての提案を実現することが出来た。
【アントレプレナーシップ教育の指導者養成講座】2019～ 小・中学生を対象にアントレプレナーシップを推進する教育指導者の育成講座で、継続することでインストラクターの資格を授与するものです。今年は、オンライン研修となり、基礎講座の開催のみとなった。	日時：6/6～8/1 隔週土曜全 5 回、2/25～4/22 隔週木曜全 5 回 場所：オンライン 参加者：8 名	多様な方の参加を頂くことが出来、実践講義については課題残るものの、オンライン研修のメリットが生かせる基礎講座となった。
2. 普及促進のためのイベント・セミナーなどの企画・運営		
【Global Enterprise Challenge (GEC)】2004～ 高校生対象の 12 時間のオンラインでのビジネスアイデアの国際競技。世界大会の Global Youth Entrepreneurship Challenge も 2017 年から主催。 協賛：有限責任あずさ監査法人京都事務所、京都外国語大学、株式会社島津製作所、日東薬品工業ホールディングス株式会社、株式会社堀場製作所 助成：公益財団法人電通育英会、公益財団法人日新電機グループ社会貢献基金	対象：高校生 日時：世界大会 2020/5/30、国内予選 2021/3/28 場所：オンライン 参加者：世界大会 162 人(13 か国)、国内予選 524 人 審査等支援者：約 50 人	オンラインの競技だが、事前学習会やチームでは集まる必要があるため、コロナ禍で大変な部分もあったが、全てオンラインで参加できるように変更したことで、2021 年は参加者が大きく増えたことは良かった。

<p>【ユースエンタプライズ トレードフェア】2001-継続事業</p> <p>地域と連携した起業教育の実践活動を行う小学生～大学生の発表会。優秀な取り組みを表彰。2020 年は 20 回目の開催だったが、初めてオンラインでの開催となった。</p> <p>協賛：株式会社エスユーエス、株式会社エフタイム、京都信用金庫、株式会社島津製作所、株式会社 SCREEN ホールディングス、有限会社 Ek、株式会社井筒八ッ橋本舗、株式会社京都シネマ、よーじやグループ</p>	<p>対象：小学生～大学生 日時：11 月 29 日（日） 場所：オンライン 参加者：17 チーム 108 人</p>	<p>参加者からは集まったの開催を望む声が強かったが、コロナの感染防止のためオンライン開催となったが、展示販売がなくなった分、参加者が落ち着いて他校の取り組みの発表を聞く機会が出来たとの良い点もあった。</p>
<p>3.実践を後押しするための教材・教育プログラム開発や導入支援</p>		
<p>【Youth Enterprise】2014-継続事業</p> <p>小学生～大学生の起業家教育の活動を発信・交流できるオンラインの教育プログラム。利用する当事者が主体となって活動を発信でき、「応援したい」ボタンのクリック数などで事業評価を一般から得られるようになっている。</p>	<p>対象：小学生～大学生 日時：随時 場所：オンライン 参加者：21 プロジェクトのメンバーと閲覧者</p>	<p>Youth Enterprise はクラウドファンディングや SNS の要素を取り入れたプログラムで、プロジェクトの実践の様子を誰もが見られるものになっている。中には、応援数が 3 万を超えるものも。</p>
<p>その他 テキスト教材や資料提供など</p>	<p>随時</p>	
<p>4.事業理解を進めるための調査・研究・情報発信</p>		
<p>HP&メールマガジン、SNS 等によるセンター活動の報告・案内を行っている。今年は、コロナ禍で前半ほとんど活動ができなかったことから、以前より予算やスタッフの余裕がなくなかった法人の HP の改訂やテレワークやオンライン会議の環境整備を助成金や補助金を活用して行った。</p> <p>助成：第 11 回「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」 補助：京都市中小企業等緊急支援補助金</p>	<p>随時 メールマガジンは毎月 25 日発行</p>	<p>HP を改訂したことで活動発信がしやすくなり、また、情報を整理し、スマートフォンに対応するものにしたことで、問い合わせや競技への参加者が増えた。</p>
<p>5.その他 この法人の目的を達成するために必要な事業</p>		
<p>委員やインターンの受け入れ等</p>	<p>随時</p>	<p>インターンシップは、研修期間終了後もアルバイトで手伝ってくれるなど協力者の発掘に良い機会となっている。</p>

1. 能力開発のための研修・講義・講座の提供

➤ ジュニアリーダーズクラブ for Social Action @寺町商店街

対 象 者:小学生 5 年～中学生

活 動 日:2020 年 8 月 8 日～第1・3土曜日 9:30-11:30

活動場所:京都ペレット町家ヒノコ 2 階

主 催:特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センター

助 成:公益財団法人大阪コミュニティ財団「江田直介・静子健やかな青少年育成基金」

独立行政法人国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金」

後 援:京都市教育委員会 (土曜塾登録講座)

本事業は、子供達が主体となって運営する活動から、倫理観を持ったアントレプレナーシップ溢れるリーダーが継続的に輩出される仕組みづくりがしたいと 2020 年 8 月に開始しました。コロナの影響を受けて、少人数での活動でしたが、昨年度まで堀川商店街で実施していた「堀商キッズチャレンジ」で活動していたメンバーが中心となって活躍してくれました。

講座では、子供達が実現したい社会になるために、自分達でも出来ることを身近なところから始めようと、アイデアを出し合いました。その結果、最初のプロジェクトとして、持続可能な社会の実現に貢献しているお店を寺町商店街の中から選び、「100 年後も続いてほしいお店」として広報誌を作成し、特に優れた点をマークで表示して紹介することにしました。広報誌作成のために、質問を考え、取材の依頼や調査インタビュー・写真撮影を行い、活動日以外の日も集まって完成させました。広報誌は vol.1 を 12 月初旬に、vol.2 を 3 月末に印刷して、取材先や近隣の小・中学校、京都市の観光センターにて配布しました。また、この取材の様子を京都新聞の記事や毎日放送のニュース番組、ラジオカフェの番組等で取り上げて頂き、子供達にとっても自分達の取り組みに誇りを持てる機会となりました。そして、広報誌に続く次のプロジェクトとして、エコ商品の開発にチャレンジしました。スマートフォンと一緒にいつでも持ち歩いてもらえる風呂敷ということで、スマホのお供「スマートモ」として、風呂敷の老舗「宮井株式会社様」のご協力を得て、試作品を完成し、関係者の方にモニターとして利用頂きました。残念ながら、商品としてはまだ課題も多く、一般販売するものにはなりませんでしたが、メンバーにとっては企業の人に助言を得ながらアイデアを形にする良い経験となりました。活動の内容は、広報担当のメンバーが HP にて随時発信しています。<http://www.youthenterprise.jp/project.php?id=240>



➤ 里山の恵みを届ける手仕事体験@亀岡市西別院町

対 象 者: 地元の小・中学生と移住に興味ある方

活 動 日: 2020 年 8 月 2 日(日) 樹木標本づくり & 8 月 23 日(日) 鉋屑リースと木の小物づくり

活動場所: 組ム木工房・犬甘野営農組合 (亀岡市西別院町犬甘野)

主 催: 特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センター

共 催: 西別院町自治会

助 成: 一般財団法人 YS 市庭コミュニティー財団

協 力: 農事組合法人犬甘野営農組合、一般社団法人森の京都 DMO、林業女子会@京都、
やまぐに、亀岡市ふるさと創生課、京都府南丹広域振興局、京都移住コンシェルジュ

後 援: 西別院小学校起業体験活動推進委員会、亀岡市教育委員会、京都市教育委員会

亀岡市西別院町にて、田舎暮らしに興味のある方が地元の子供達と交流しながら、里山の恵みを活用した手仕事を体験するワークショップを行いました。当日は、地元の子供から町や小学校の特色ある学習内容などについて紹介があった後、数年前に西別院町にて古民家を買って組ム木工房を立ち上げた講師の黒岩氏からお話を聞き、その後、里山の恵みを生かしたモノづくりを一緒に体験しました。

緊急事態宣言が出たことから、当初の予定の4月&5月の開催が8月に延期となり、暑い中での実施となりましたが、参加者の方の中から、西別院町に移住されるご家族の方が出るなど、実りのある会となりました。



➤ キッズベンチャータウン～子どもが創る起業村

対 象 者:小学生 5 年～中学生

活 動 日:2020 年 9 月 13 日(日)～12 月 13 日(日) 隔週日曜 10:00-12:00 8 回講座

活動場所:同志社大学 町家キャンパス「江湖館」

主 催:特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センター

共 催:同志社大学大学院 総合政策科学研究科 今里研究室

協 力:京都技術士会

助 成:独立行政法人国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金」

公益財団法人双葉電子記念財団「青少年創造性開発育成事業」

後 援:京都市教育委員会、青少年と科学の会

本事業は 2017 年度から実施していますが、今年度は、講座の募集時期が新型コロナの感染拡大の時期と重なったこともあり、会場や募集人数、講座内容等の変更を余儀なくされました。結果的に、同志社大学に共催頂き、換気や衛生管理がしやすい大学の町家キャンパスを利用して実施することが出来ました。また、講座では、毎回同じようなアイデアを提案した者でチームを組んで活動していたのを、密を避けるため、個人の事業アイデアを改善しながらより良くする形で活動を進めることとし、一日の活動時間も最大 2 時間とし、昼食を挟む活動は避けました。そして、子供達の事業アイデアを展示して一般の方に見てもらう 12 月 6 日の起業村「キッズベンチャータウン」も、来客は保護者と招待客のみとし、限られた人の参加に留めての開催としました。

最終的に、「環境のために行動する人を増やすスタンプラリー」、「顔認識して呼ぶと来てくれるゴミ箱」、「リフィルできるリップバーム」、「外で体を動かしながらできる AR ゲーム」、「大きな施設で迷子を防止する IC タグサービス」、「必ず起こす目覚まし時計」の 6 つの会社が形になりました。参加者のアンケートでは、全員の生徒が「参加してよかった」と回答し、「自分なりに考えて、事業アイデアを積極的に提案できた」と答えています。また、このような活動を通して伸びたと思う知識や力については、「働くこと（職業）についての理解」や、「会社に就職するだけでなく、自分で起業するという働き方があることへの理解」を挙げている生徒が 8 割で、全員が、「このような活動は、将来自分の職業を考えるうえで役立つと思う」と回答しており、人数が少なかった分、アットホームな雰囲気でも活動を進められ、概ね目標とした成果を上げることが出来ました。また、コロナ禍の中、外出自粛やオンラインでの授業など、子供達の生活にも多くの制約が発生したことで、また違った視点で未来について考え、新しい仕事づくりを体験できたことは、参加者達にとって良い体験になったと考えています。一方で、活動時間が例年より少なくなったことから、技術的な部分で深堀することが出来なかったことが反省点としてあります。



▶ 小・中学生の起業アイデアコンテスト「Kyoto アントレプレナーチャレンジ」

令和 2 年度京都府「起業するなら京都・プロジェクト」起業体験推進補助事業

対 象 者：京都府内の小・中学生

活 動 日：2020 年 9 月末から募集開始

主 催：特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センター

後 援：京都府、京都府教育委員会、京都市教育委員会

本事業は、未来を創る当事者である小・中学生に、今の社会現状を踏まえ、自分達の身近な問題に目を向け、その解決に貢献できる事業アイデアや京都の豊かな資源を活用し、新しい時代に求められる「こんな商品・サービスを実現したい」という提案を募り、それを実現するお手伝いをする事で、アントレプレナーシップの育成を奨励することを目的として開始しました。採択者には、事業の実施に必要な経費を最大 10 万円まで補助し、必要に応じて助言者や支援者を紹介し、提案事業を実現するお手伝いをするものです。

初年度の 2020 年には、9 月末に公募を始め 11 月 18 日には 191 の応募があり、1 次（書類）選考にて 10 の事業提案に絞られた中から、2 次（面接）選考を経て 5 つの提案事業が採択となりました。採択者に対しては、月 2 回オンラインミーティングを行い、互いの進捗状況や課題について情報を共有しながら、事業の進め方について助言を行いました。採択者は、随時 HP で活動を発信しながら、提案事業を形にし、3 月 7 日の事業報告会にて発表しました。報告会では、社会的意義があり最も公共性の高い事業を成し遂げたプロジェクトに対して『知事賞』を、社会的意義に加え、ビジネスとして採算のとれる事業を行ったプロジェクトに対して『アントレプレナー大賞』が授与されました。

子供達が主体的に取り組んだ活動であったことから、高い成果を得ることが出来た事業であり、特にリーダー役の児童・生徒達の成長は著しいものがありました。

<採択事業>

- 『Safety Road Project～いつかは安全な二車線』 高野友稀（亀岡市立別院中学校 1 年）知事賞受賞
- 『花背を紹介！ちまきプロジェクト』 川勝杏稟（京都市立花背小中学校 6 年）アントレプレナー大賞受賞
- 『政治×RPG』 井出日和（京都市立東山泉小中学校 2 年）
- 『スマホのお供ーエコ風呂敷プロジェクト』 今河咲乃（京都市立衣笠中学校 2 年）
- 『Kyoto Bee Challenge』 藤原さくら（亀岡市立吉川小学校 5 年）他 3 名



➤ アントレプレナーシップ教育指導者養成講座

小・中学生を対象にアントレプレナーシップを推進する教育指導者の育成講座で、継続することでインストラクターの資格を授与するものです。今年度は、オンラインでの開講となり、夏と春の2回、基礎講座を実施しました。オンラインになったことで、関東からの参加者も加わり、受講者の多様性という点では、メリットがありました。



<基礎講座：6月～8月>6/6, 6/20, 7/4, 7/18, 8/1 全5回土曜 10:00～11:30

<基礎講座：2月～4月>2/25, 3/11, 3/25, 4/8, 4/22 全5回木曜 19:00～20:30

2. 普及促進のためのイベント・セミナーなどの企画・運営

➤ 世界大会 Global Youth Entrepreneurship Challenge 2020

対象者：世界各国の高校生

活動日：2020年5月30日 8:00-20:00

主催：特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センター

助成：公益財団法人電通育英会

協力：京都技術士会

本競技は、若者の科学技術やイノベーションへの興味を喚起するために、15歳～19歳の高校生を対象に実施する12時間の国際競技です。国内予選と世界大会の二つのステージからなり、当センターは2004年から国内予選(Global Enterprise Challenge)をホストし、2016年から世界大会(Global Youth Entrepreneurship Challenge)のホストも担っています。

2020年は、日本の国内予選には54チームが参加し、入賞した3チームが世界大会に出場し、優勝は、インドのTechnopreneursチーム、次いで中国のBlack Iceチームが準優勝となり、日本チームは残念ながら入賞には至りませんでした。Shoutout to Sushiチームが3位と健闘しました。

<課題(challenge)> 新型コロナウイルスが収束後の新たなビジネスの提案

「To produce an innovative business idea that utilizes science and technology in order to contribute to a better society in a post-COVID (or living-with-COVID) world. Your business can be aimed at anyone but must be sustainable. You also need to be specific about the kind of problem you are trying to solve and make clear who your target customers are.」

■参加チーム：26チーム(13か国)

■入賞チーム

★最優秀賞(1位)：『Oasis Business Plan』Technopreneursチーム(混成チーム、インド)

★優秀賞(2位)：『The Road Less Traveled』Black Iceチーム(Shanghai American School Pudong、中国)



▶ 国内予選 Global Enterprise Challenge 2021

対 象 者: 日本国内の高校生

活 動 日: 2021 年 3 月 28 日 8:00-20:00

主 催: 特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センター

協 賛: 有限責任あずさ監査法人京都事務所、京都外国語大学、株式会社島津製作所、
日東薬品工業ホールディングス株式会社、株式会社堀場製作所

助 成: 公益財団法人電通育英会、公益財団法人日新電機グループ社会貢献基金

協 力: 京都技術士会

後 援: 経済産業省近畿経済産業局、京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、
京都府私立中学高等学校連合、公益財団法人全国商業高等学校協会、青少年と科学の会、
国立研究開発法人科学技術振興機構、独立行政法人国立高等専門学校機構

今年は、全国から 80 チームがエントリーし、3 月 14 日の事前学習会での模擬練習を経て、3 月 28 日の国内予選にて以下の 3 チームが選ばれ、5 月 29 日の世界大会に出場予定です。

<課題(challenge)> 環境への負荷が少ない新商品の提案

「To take a fresh look at the various aspects of an existing product--design, component materials, the manufacturing process and disposal at the end of the product's life--and use science and technology to come up with a revolutionary new product that will have a reduced impact on the global environment.」

■参加チーム: エントリー 80 チーム

■入賞チーム(日本代表チーム)

○最優秀賞

- buh-lah-kay (三田国際学園高等学校)
(井口陽登、大湊玄天、金俊、鈴木空、藤上大希、
山内良斗、松井康祐、宮沢純正)



○優秀賞

- Laurel (広尾学園高等学校)
(片桐茉梨乃、田口琉子、武田杏樹、原田彩花、針生美里、星紅愛、平野仁菜、和田藍莉)
- The Unlimited (田園調布雙葉高校、広尾学園高等学校)
(蛭名まりあ、伊藤花梨、北代春奈、濱本伊紗、林夏心、福田紗良、松本恵莉子、芳川華保)



➤ 第20回 ユース エンタプライズ トレードフェア 2020

対象者:起業教育を実践している小学生～大学生

活動日:2020年11月29日 8:00-20:00

主催:ユース エンタプライズ トレードフェア実行委員会

協賛:株式会社エスユーエス、株式会社エフタイム、京都信用金庫、株式会社島津製作所、株式会社 SCREEN ホールディングス

賞品提供:有限会社 Ek、株式会社井筒ハッ橋本舗、株式会社京都シネマ、よーじやグループ

後援:経済産業省、厚生労働省、文部科学省、京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、一般社団法人京都経済同友会、公益社団法人京都工業会、公益財団法人京都産業 21、京都中小企業家同友会、一般社団法人京都発明協会、青少年と科学の会、京都府私立中学高等学校連合会、全国中学校進路指導・キャリア教育連絡協議会、公益財団法人日本進路指導協会、公益財団法人全国商業高等学校協会、日本キャリア教育学会、一般社団法人日本教育情報化振興会、日本社会科教育学会、特定非営利活動法人日本シミュレーション&ゲーミング学会

事務局:特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センター

アントレプレナーシップ育成の教育実践の発表と交流の場を提供する目的で2001年に開始したトレードフェアも、今年度 20 回目を迎え、当初は大きなイベントにする予定でしたが、コロナ禍の影響から、オンラインにて実施することになりました。初めての取り組みでもあり、時間的な制約もあったことから広報はせず、例年出展されている学校から 17 チーム（小学生 1 チーム、小・中学生 1 チーム、大学生 15 チーム）が参加され、11月29日にオンラインで事業紹介の後、審査員からの質問に答えて頂きました。

参加者同士の交流は行えませんでした。参加者からは、出展がなかった分、他の学校の発表や質問への対応などをゆっくり聞くことで大変勉強になったとの声が多くありました。事業終了後のアンケートでも、参加者の 97%の者が、「このような活動が将来自分の職業を考えたり、仕事を通じて社会に貢献する力をつけたりするのに役立つ」と答え、この活動を通して約 8 割の参加者が「アイデアを形にする力」、「他の人と一緒に協力して働く力」がついたとしております。また、96%が以前より事業経営に興味を持つようになり、そのうち 32%が「将来ぜひ起業にチャレンジしたい」と回答しています。

<入賞チームの紹介>

●京都府知事賞（社会貢献度が最も高かったチームへ）

賞品：丹後ちりめん「がま口ポーチ」 賞品提供：京都府

○受賞者：じょあしす（共愛学園前橋国際大学）

-在日ブラジル人が多い大泉町にて、ブラジル料理専門店と協力して、ブラジル人と日本人との共生を進めるための手段として、ブラジルの伝統料理「パステル」の中に群馬県発祥のサツマイモ「シルクスイート」入れた「さつてる」を商品化。広く広める活動。



●京都経済同友会賞（地域コミュニティに貢献度の高いチームへ）

賞品：iTunes の「バリアブルカード」 賞品提供：一般社団法人京都経済同友会

○受賞者：ジュニアリーダーズクラブ

-自分達子どもの視点で、“こんな社会を望む！”を発信し、大人たちに私達が実現したい未来を理解し、行動につなげてもらう活動の最初の一步として、私たちが活動する寺町エリアで、より良い社会づくりに貢献しているお店やお仕事を調べ紹介する広報誌を「100 年度も続いて欲しいお店」として発行し配布する。



●京都中小企業家同友会賞（ビジネスモデルに新規性や独自性の高かったチームへ）

賞品：京友禅のメガネ拭き「おふき mini」 賞品提供：京都中小企業家同友会

○受賞者：なごめん（愛知学院大学）

-愛知県民の郷土料理でもあるきしめんの普及のため、創業 100 年を超える角千本店の協力を得て、きしめんを身近なおつまみとして開発し販売。



●異能工房賞（実際に起業するなら応援したいチームへ）

賞品：ソニーUSB3.0 高速タイプ 賞品提供：有限会社 Ek（エク）

○受賞者：めじキッズ（目白大学）

-コロナ禍で自宅にいる子供が楽しく学べる学習やダンスなどのコンテンツを提供。

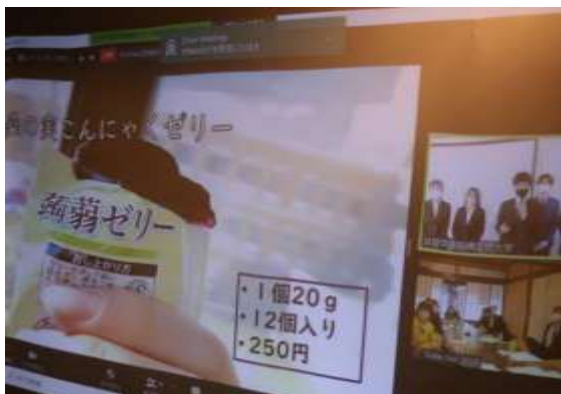


● **青少年と科学の会賞**（ものづくりにおいて新しい発想があったチームへ）

賞品：スマホ用ワイヤレス充電器 賞品提供：青少年と科学の会

○ **受賞者：健やかマルベリー**（共愛学園前橋国際大学）

-目の疲れを改善することを目的に、桑の実とこんにやくゼリーを合わせた商品を提案。



● **特別賞**

賞品：あぶらとり紙他雑貨セット、おめでとう三笠 50 個

賞品提供：よーじやグループ、株式会社井筒八ッ橋本舗

○ **受賞者：Snow Mai**（共愛学園前橋国際大学）

-川場村の魅力が詰まった商品として、お米の販売会社である株式会社雪ほたかと菓子販売の荒木屋本店と連携し、荒木屋の看板商品である羊羹に「雪ほたかの米ぬか」と川場村産のリンゴを使用した「雪ぬかりんごようかん」を商品化。



● **特別賞**

賞品：京都シネマ招待券、おめでとう三笠 50 個

賞品提供：株式会社京都シネマ、株式会社井筒八ッ橋本舗

○ **受賞者：NISSI カンパニー**（亀岡市立西別院小学校）

-地域の自然を生かした野菜・米づくりや、木工商品を手作りして販売。



3. 実践を後押しするための教材・教育プログラム開発や導入支援

➤ Youth Enterprise

<http://www.youthenterprise.jp/>

参加者だけが利用できる教材ではなく、より多くの人にその取り組みを見て参画してもらえものが出来ないかと、クラウドファンディングや SNS の要素を取り入れて開発し、2014 年から提供しているオンラインの教育プログラムです。小学生～大学生達が、学年段階を超えて、自分達の起業教育の活動を発信しながら、互いに学びあい、また、彼らの支援者が応援者としてプロジェクトの進捗状況を閲覧し応援できるようにになっています。

トレードフェアや Kyoto アントレプレナーチャレンジでは、このサイトでの活動発信が表彰のための事前審査の対象となっています。今後もより多くの活動に使ってもらえたらと考えています。



4. 事業理解を進めるための調査・研究・情報発信

➤ HP、ブログ、Facebook やメールマガジンでの情報発信

今年は、コロナ禍で活動が思うように出来なかった時期もあり、以前より行いたかった HP の改訂やテレワーク・オンライン講座ができる環境整備等を、市の補助金や民間助成を活用して実施しました。そのお蔭で、スマートフォン対応の HP になり、見やすくなっただけでなく、トップページの改訂やニュース発信、追加ページの作成などが容易になりました。

HP では、随時活動情報や実践の報告を発信するとともに、毎月 25 日には約 6,000 人にメールマガジンを配信しています。

HP : <http://www.entreplanet.org/>

Facebook : <https://www.facebook.com/entreplanet>

本活動は、第 11 回「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」より助成を受けております。



<メディア掲載等>

- 2021.03.16 : 京都新聞「模擬会社収益 日赤に寄付」 亀岡・西別院小児童 野菜や木工売り
- 2021.03.08 : 読売新聞「子ども起業案 実践成果発表 知事賞に亀岡の小中グループ 交通安全啓発看板」
- 2021.03.08 : 京都新聞「未来の起業家集合 下京で小中アイデアコンテスト 知事賞に別院中・東別院小」
- 2021.03.07 : KBS 京都・京都新聞ニュース「小中学生が起業アイデア競う 成果発表会」
- 2021.03.05 : 京都新聞「小中学生の起業アイデア発表へ 下京で 7 日」
- 2021.02.24 : 京都新聞「校区安全へユニーク看板 亀岡・東別院 小中生ら手作り」
- 2021.02.14 : 京都新聞「起業に挑戦 養蜂に学ぶ 亀岡」「吉川小児童 菓子振る舞う」
- 2021.02.02 : 日本経済新聞「起業家教育 じわり小中に」「自治体支援オンライン教材も 社会参画の土壌作り重要に」
- 2020.11.27 : 京都新聞「亀岡の西別院小児童ら模擬会社 自作木工商品や野菜販売」
- 2020.10.18 : 京都新聞ジュニアタイムズ「100年後に残したい店は？」「起業家の行動力学 小学生会社」地元を PR 静原小 手作り米や木工品販売」
- 2020.10.14 : 京都新聞「府の小中学生対象 起業アイデア募集 NPO、初の開催」
- 2020.10.03 : 読売テレビ「かんさい情報ネット ten。」にてジュニアリーダーズクラブの活動が紹介されました。
- 2020.08.03 : 京都新聞「移住希望者 里山の魅力触れる 樹木標本作り体験」

活動を支えてくださった方々

Supporter

<助成・協賛団体>

 National Institution For Youth Education 公益財団法人 国立青少年教育振興機構 「子どもゆめ基金助成活動」	 体験の風を おこそう	 公益財団法人 大阪コミュニティ財団 The Osaka Community Foundation 「江田直介・静子健やかな青少年育成基金」
 DENTSU Scholarship Foundation	 阪急阪神ホールディングス株式会社	
 The Futaba Foundation 公益財団法人 双葉電子記念財団	 ICHIBA COMMUNITY FOUNDATION	
 日新電機グループ 社会貢献基金	 KPMG	
 SUS	 エフタイム Ftime	
 京都外国語大学 Kyoto University of Foreign Studies	 京都信用金庫	
 SHIMADZU Excellence in Science	 SCREEN	
 日東薬品工業HDグループ	 HORIBA Explore the future	

<その他の協賛・協力団体>

株式会社井筒ハツ橋本舗、有限会社 Ek、株式会社京都シネマ、株式会社土井志ば漬本舗、よーじやグループ
有限会社森三、株式会社 Hibana、un:que

<会員・賛助会員>

青山和典、石塚実、岩田晋一、宇田川幸夫、大口達夫、岡村充泰、川勝雪貴、黒澤敏朗、酒井朋久、阪内悠一、
首藤晴美、鈴木三朗、鈴木滋朗、田邊紀彦、谷孝大、角田隆太郎、中澤弘、西川昭寛、濱野希望、濱野康子、
原田勲、松田直子、真庭功、光田信吾、峯陽一、森木隆浩、山本桂子、横山強、黄錦豪、木村哲也、黒岩絵里子、
下村委津子、田中絵里加、中塚祐起、中根敏雄、西田喜久夫、堀田芳子、松田稔樹、森義晴、山崎真嗣、
横井和彦、吉田隆、和田信明

2020 年度 決算報告

Financial Report

令和 2 (2020) 年度「特定非営利活動に係る事業」活動計算書

自 令和 2 年 4 月 1 日 至 令和 3 年 3 月 31 日

(単位：円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	250,000	
賛助会員受取会費	45,000	295,000
2. 受取寄附金		
受取寄付・協賛金	1,222,500	1,222,500
3. 受取助成金等		
受取助成金	3,618,228	
受取補助金	3,300,000	6,918,228
4. 事業収益		
教育教材開発・導入支援事業収益	586,300	
普及促進事業収益	717,840	
研修・講座事業収益	541,930	
その他	462,000	2,308,070
5. その他収益		
受取利益	296	296
6. 給付金		
持続化給付金	2,000,000	
家賃支援給付金	439,998	2,439,998
経常収益計		13,184,092
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費	7,400,000	
(2) その他経費	4,026,070	
事業費計		11,426,070
2. 管理費		
(1) 人件費	158,843	
(2) その他経費	824,018	
管理費計		982,861
経常費用計		12,408,931
当期経常増減額		775,161
III 経常外収益		0
IV 経常外費用		0
経常外費用計		
税引前当期正味財産増減額		775,161
法人税、住民税及び事業税		70,000
当期正味財産増減額		705,161
前期繰越正味財産額		16,725,773
次期繰越正味財産額		17,430,934

令和 2 (2020) 年度「特定非営利活動に係る事業」貸借対照表

令和 3 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	229,425		
普通預金	23,089,927		
未収入金	637,404		
流動資産合計		23,956,756	
2 固定資産			
保証金(敷金)	500,000		
固定資産合計		500,000	
資産合計			24,456,756
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	695,013		
前受受益	540,000		
預り金	290,809		
流動負債合計		1,525,822	
2 固定負債			
退職給与引当金	5,500,000		
固定負債合計		5,500,000	
負債合計			7,025,822
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		16,725,773	
当期正味財産増加額			
当期収支差額	705,161	705,161	
正味財産合計			17,430,934
負債及び正味財産合計			24,456,756

令和 2 (2020) 年度「特定非営利活動に係る事業」財産目録

令和 3 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

科 目 ・ 摘 要	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金 現金手元有高	229,425		
普通預金 京都銀行西五条企業会館支店	4,713,617		
京都中央信用金庫西大路五条支店	16,875,702		
ゆうちょ銀行(当座預金)	1,500,608		
未収入金	637,404		
流動資産合計		23,956,756	
2 固定資産			
保証金(船越メディカルビル事務所保証金)	500,000		
京都市中京区両替町通丸太町南入西方寺町160-2 船越メディカルビル 3F			
固定資産合計		500,000	
資産合計			24,456,756
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	695,013		
前受受益	540,000		
預り金	290,809		
流動負債合計		1,525,822	
2 固定負債			
退職給与引当金	5,500,000		
固定負債合計		5,500,000	
負債合計			7,025,822
正味財産合計			17,430,934